

令和 7 年度シラバス

教科	家庭科		科目	家庭基礎	単位数	2
学年	1 年生	学科（コース）		普通科 体育科		
使用教科書	家庭基礎 明日の生活を築く（開隆堂）					
副教材等	最新生活ハンドブック 資料&成分表& I C T （第一学習社）					

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	家族や生活の営みを人の一生と関わりの中で捉え、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住について理解している。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて、自らが課題を見出し、課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断する力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関心を持とうとしている。 生活の充実向上を目指そうとしている。 学んだことを生活に生かそうとしている。
	定期考査の配点基準（目安） 60%	定期考査の配点基準（目安） 40%	

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1 学期	青年期の自立	・生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定をし、責任を持つて行動することの重要性を理解する。	期 末 考 査
	家族・家庭	・家族、家庭について考え、家族の現状やこれからの求められる家族の機能について考える。	
	子どもの生活と保育	・子どもがどのように発達するか、どのように生活習慣が身に付くか理解し、子どもの健全な発達を支える親や周りの大人の役割について理解する。	
	高齢者の生活と福祉	・子育てに関する社会的支援や社会の一員として身近な子どもとの関わりについて考える。	

2 学 期	食生活と健康	・食生活について考えを深め、食事の重要性について考える。 ・食品の栄養的特質と調理上の性質について理解する。 ・目的を明確にした調理実習を行い、調理技術を習得する。 ・食品の選択と衛生について関心を持ち、必要な知識を身に付ける。 ・生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済の関わりなどについて理解する。	期 末 考 査
	生活を支える経済	・適切な意思決定や消費行動によって意見を表明し、行動することが消費者の責任であることを理解する。	
	消費行動と意思決定		
3 学 期	衣生活と健康	・健康で安全かつ快適な生活を送ることについて考え、自分の個性を見つめ、自分の衣生活を振り返る。 ・衣服の入手、選択、保管など、衣生活を自ら管理する知識と技術を習得する。 ・組成表示や取扱表示を理解し、着心地や管理を考えた被服の選択について考える。 ・安全で健康かつ快適な住居や耐久性の高い住居を選択するために必要な住居の機能について、理解する。 ・住生活にまつわる危険を知り、安全対策を考える。	学 年 末 考 査
	住生活と健康		
各学期の観点別学習状況の評価の方法 知識・技能＝定期考査、ノート及びワークシート、実習 思考・判断・表現＝定期考査、ノート及びワークシート、実習 主体的に学習に取り組む態度＝授業態度、ノート及びワークシート、実習 学年末の評価 各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。			